

コロナウイルス感染拡大防止による今年度大会開催について

大会開催に向けた感染対策（案）

現在、緊急事態宣言が解除されているが首都圏等での感染状況は著しく減少していない中、今年度の当連盟事業である大会や講習会を開催するに中って、関係者・選手・保護者等の御協力のもと次の通り全日本空手道連盟のガイドラインに則しながら、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い開催することとする。

<全般的な対応>

- ・大会を開催するに中り、1選手に1保護者（引率者）の入場を可とする。（兄弟姉妹で出場の場合も同様。）
- ・当連盟から依頼があった役員・審判員・係員または登録された指導監督者以外の体育館入館を不可とする。
- ・原則、体育館への出入館は不可とし、再入館を禁止する。
- ・出場選手と保護者（引率者）が一緒に出入館すること。

○体育館入口に係員2名

- ・入館時のソーシャルディスタンスを促す。
- ・再入館を禁止する。

○受付係員4名

- ・受付場所を入館すくに設置。
- ・マスク着用の有無確認。
- ・選手は、『健康管理チェックシート』と『大会入場者連絡票』を提出。同時にエントリーチェック。
- ・保護者（引率者）は、『大会入場者連絡票』を提出。
- ・検温
- ・参加賞・パンフレットの配布（選手のみ）
- ・指導監督者については、『指導監督者カード申請書』のコピーを持って纏まって受付行き、『大会入場者連絡票』を提出。（その時にパンフレットのみ配布）

※小学生大会受付時間→9:00～10:00<1・2・3年生> 12:30～13:30<4・5・6年生>

上記時間帯以外の選手と保護者（引率者）の出入館を不可とする。

- ・役員・審判員・係員、ドクター等は、『大会入場者連絡票』のみ提出。（パンフレット配布）

○巡回係員2名

- ・観客席・練習会場のソーシャルディスタンスの確保
- ・観客席は1席以上空けるなどの対応をすること。
- ・観客席と練習会場の定期的な換気
- ・マスクの着用の有無
- ・各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること
- ・応援は、拍手のみとし声を出しての応援はしないこと

○開会式について全般的な対応について(開閉会式・表彰式)

- ・全ての関係者がソーシャルディスタンスの維持に努める

- ・開会式を開始式に変更し、審判長の開始の発声のみとする
- ・国歌斉唱は声に出しては歌わず、録音された音源を流す
- ・祝電は読み上げず掲示すること
- ・表彰者の人数を最小限にすること（優勝者、準優勝者のみなど）
- ・プレゼンター・受賞者はマスクを着用すること※プレゼンターは手袋着用
- ・原則、各種目決勝毎に表彰式を行うこと
- ・表彰係はマスク、手袋を着用すること

大会要項作成・発送時の対応について(必須記載事項)参加の見合わせ項目

- 体調がよくない場合 例:発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われている場合
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

感染予防のアナウンス

- マスク着用(試合時を除く)※審判員は試合中も原則マスクを着用すること
- 手洗い、手指消毒の徹底
- ソーシャルディスタンスの確保
- 大会を通じて大きな声で会話をしないこと
- 大会を通じて、握手、ハイタッチ、ハグなどは行わないこと

大会について(競技内容)

<形>

- ・試合場への入退場時はマスクを着用すること
- ・小中学生においては、2名同時にて行うため試合時にマスク（マウスシールド等）着用すること。
- ・競技中の気合い発声は可とする
- ・形名の呼称を行う
- ・赤・青帯は、各自で持参すること。
- ・タオルの共有はしないこと

<組手>

- ・原則としてメンホー+メンホー用口元シールドの着用を義務付ける
(※ミズノ製のメンホー用口元シールドを推奨する)
- ・競技場への入退場時はマスクを着用し、競技中はメンホー+メンホー用口元シールドを装着し、競技中の気合い発声は可とする
- ・試合中メンホー或いは、マウスシールドが取れた場合、試合は一旦停止をし、コート内でのソーシャルディスタンスを保ち、防具を装着し、試合を再開すること
- ・小学1・2年生の競技に関しては、上段攻撃を不可としているため試合中にマスクまたはマウスシールド（透明のもの）を着用すること。

(※マスク着用の競技のため、熱中症対策で競技中に選手の呼吸を整えさせることを可とする)

・赤・青帯は、各自で持参すること。

・防具の貸し借りはしないこと。

・タオルの共有はしないこと

大会前の対応について

- ・スタッフ含む大会関係者全員の氏名、年齢、住所、電話番号、メールアドレスの提出を事務局が求めること(可能であれば大会前に収集すること。大会終了後4週間保存すること)
- ・大会出場選手は大会14日前から自己検温と体調チェックを促すこと(原則としてチェック体制を整えること)

※大会関係者とは選手、監督、役員、審判、係員のことをいう

大会前の対応について

参加者(選手団、運営係員、役員)から以下の事項を記載した書面の提出を求めること

- ・氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号、メールアドレス)、所属先※個人情報の取扱いには十分注意すること
- ・利用当日の体温
- ・利用前2週間における以下の事項の有無
- ・平熱を超える発熱の(おおむね37.5℃)
- ・咳・喉の痛みなど風邪の症状
- ・だるさ(倦怠(けんたい)感)・息苦しさ(呼吸困難)
- ・嗅覚や味覚の異常
- ・体が重く感じる・疲れやすい等
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入場制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

※書面の提出を求める文書に以下の文言を記載すること「入手した個人情報は、(公財)全日本空手道連盟のプライバシーポリシーに則り、目的外の使用を一切行わず、一ヶ月経過後に責任を持って破棄いたします」

なお、引率の保護者も検温を義務付け、発熱や咳などの症状や体調がよくない場合は、入場をお断りすること

- ・可能な限り新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)を事前にインストールし、大会前後でアプリ稼働することを推奨する

<厚生労働省 HP> https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

【選手】

- ・ 該当種目の選手であることを確認するため、入館時にゼッケン（空手衣への縫い付け状態で可）を見せて頂きます。
- ・ 自分の試合以外（待機や休憩など含む）も常時マスクを着用ください。

【監督・コーチ】

- ・ 各自のマスクに加え、大会側で用意するフェイスシールドと手袋を必ず着用いただきます。
- ・ 配布する ID を常に見える位置に表示ください。
- ・ ID の不正作成、また主管の指示に従わないなどの行為が発覚した場合は、該当する団体の全 ID を没収の上、退場していただき再度の入館はできません。

【審判員】

- ・ 各自のマスクに加え、大会側で用意するフェイスシールドと手袋を必ず着用いただきます。

【役員・係員】

- ・ 各自のマスクに加え、大会側で用意するフェイスシールドと手袋を必ず着用いただきます。

【観客（各連盟役員・保護者など）】

- ・ 常時マスクを着用ください。
- ・ 応援は拍手のみとし、声を出しての応援は禁止とします。
- ・ 使用可能でない座席利用を発見した場合は、退場していただき再度の入館はできません。
- ・ 未就学児の入館は禁止とします。
- ・ 地面、廊下・通路にシートを敷くことは禁止とします。